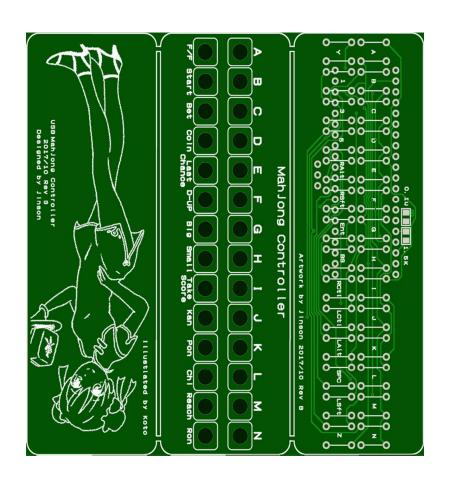
USB接続 麻雀コントローラ

USB接続の麻雀コントローラ。 キーボードデバイスとして認識。



USB接続 麻雀コントローラ

USB接続の麻雀コントローラ。 キーボードデバイスとして認識。

特後

ドライバを必要としないので、OSを問わず利用可能。

キーバインドは、一般的なエミューレタのデフォルトバインドに準拠。チップ部品を使用していないので、組み立てが簡単。

基板を結合するスペーサが付属しているので、ケースに入れなくても利用可能。

幅10cmとコンパクトな為、ゲームパッド感覚で使うことができる。作者Webページ:https://www.telnet.or.jp/~mia/sb/

免責事項

- 1) 本キットは実験キットです。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) キットの完全性 (動作性を含む) は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立てが可能な方を対象としています。
- 4) 本キット使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 5) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

以上をご理解の上、楽しんでいただければ幸いです。 作者:じんそん(@chinjinson)

2018/1/20

★部品表

定数	備考/入手先	数量
プリント基板		1
1.5K		1
100K		1
0.1uF		3
10uF		1
セラロック 6MHz		1
タクトスイッチ白	(A-Mエリア)	13
タクトスイッチ黄	(TakeScore-Reachエリア)	5
タクトスイッチ青	(LastChance-Smallエリア、N)	5
タクトスイッチ緑	(F/F-Coinエリア、Ron)	5
HT82K629A	キーボードコントローラ	1
USBケーブル	付属以外の好みの物を使用可能(太さ3.5mmまで)	1
結束バンド		1
基板スペーサー上		1
基板スペーサー下		1

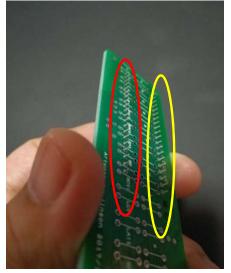
[※]その他、はんだ、両面テープが必要です。

★キーマッピング表

(イン・アンク)		
麻雀コントローラキー	発行されるキー	
A-N	A-N	
F/F(Flip Flop)	Y	
Start	1	
Bet	3	
Coin	5	
Last Chance	右ALT	
D-UP(Double UP)	右Shift	
Big	Enter	
Small	BackSpace	
Take Score	右Ctrl	
Kan(カン)	左Ctrl	
Pon(ポン)	左ALT	
Chi(チー)	Space	
Reach(リーチ)	左Shift	
Ron(□ ン)	Z	
Ron(ロン)	Z	

★組み立て

まず、基板を3枚にカット(手で折れます)し、バリをヤスリ等で処理してください。 メイン基板、表面カバー基板、背面カバー基板の3枚になります。



1)メイン基板に、HT82K629Aを刺し、赤丸の部分の突き出した足を 基板面でカットします。

これは、HT82K629Aの足がタクトスイッチ裏面と干渉する為です。 黄色丸部分は、カットの必要はありませんがカットしてもなんの問題も ありません。



2) カットが終わったら、いったんHT82K629Aを基板から抜きます。

写真のように、タクトスイッチを挿入します。



3) 赤丸の部分の突き出した足を基板面でカットします。赤丸以外のすべてをカットしても良いです。

赤丸部分をカットしないと、HT82K629AとUSBケーブルに干渉します。



4) カバー基板をかぶせてみて、タクトスイッチにズレがないか。浮きがないか確認します。

この工程をおろそかにして、はんだ付けをすると、あとで修正が大変で す。

問題がなければ、はんだ付けをします。



5) タクトスイッチのはんだ付けがおわったら、HT82K629Aを刺し、 はんだ付けを行います。HT82K629Aは、裏面からではなく部品面から はんだ付けを行います。はんだ不良になりがちな部分なので、スルー ホールにはんだが流れているか確認しながら行ってください。その後、 抵抗、コンデンサ、セラロック等を取り付けます。



6) USBケーブルは、黒 (GND)が青の場合があります。テスター等で 事前確認を行ってください。

添付品においても、基本的にこの手のケーブルはあてにならないと思っ たほうが良いと思います。

添付品のUSBケーブルだと長さが気に入らないなど好みがあれば、太さ 3.5mmまでのUSBケーブルが使えますので、お好みの物を使ってくだ さい。



はんだ付け完了後、写真のようにタイラップで固定します。 タイラッ プの付け方を間違えると、裏蓋と干渉しますので注意してください。

7)スペーサを使ってカバー基板を両面テープで張り付けて完成です。 両面テープはなるべく強力な物を使って下さい。閉じる前に、正常に動 作するか確認することを推薦します。

キーマッピングは別表の通りとなりますので、このキーコードが帰って きてるか見てください。Windowsであれば、keymillなどのツールが使 えます。

★3Dプリントパーツはロットにより色が異なります。自分で出力したい方は、以下からデータをどうぞ。



https://goo.gl/SHFNiH https://goo.gl/sBmtWg



karuhamiyanさん(@Karuhamiyan)作成の以下の3Dデータもおすすめです。

https://goo.gl/sfg6qA



https://goo.gl/jW5x4B



karuhamiyanさんの3Dデータを使った作例は以下で見ることが出来ます。

https://goo.gl/fHmG8Z

